

烏山保育園で発表会

烏山保育園では、2月20日(金)、幼児組の発表会が開かれました。大勢の保護者が見守る中、園児たちは一生懸命に練習の成果を披露。当日は、歌や踊り、劇など18演目を元氣よく発表しました。



上: さくら組による劇「月のうさぎ」。
下: 全組による歌「レット・イット・ゴー」。

消防署員・女性消防団員が 高齢者に防火指導

那須烏山消防署では、1月から2月にかけて、市内のひとり暮らし高齢者の自宅約800件を対象に、防火指導を行いました。

これは、ひとり暮らしの高齢者に火の取り扱いなどを指導するほか、災害発生時における避難支援の必要性や健康状態を把握するために例年行われているもので、昨年からは消防団女性第2部の団員も参加し、指導にあたっています。

訪問先では、高齢者と一緒に住宅用火災警報器の設置状況確認や火元の点検をしたほか、高齢者が安心して生活できるよう火災予防を呼びかけました。



訪問先の高齢者と点検をする署員と女性消防団員。

八溝そば街道推進協議会

寒ざらしそば仕込み開始



寒ざらしそばの仕込みをする関係者たち。

八溝そば街道推進協議会では、1月8日(木)、秋に収穫したそばの実を冷水にざらし、甘みや風味を引き出す「寒ざらしそば」の仕込みが行われました。

例年、厳寒のこの時期に行われる同作業。山からわき出た水が滝になっており、雪と氷の溜つぽに腰までつきながら作業をします。約1週間後、引き上げ作業が行われ、その年の寒ざらしそばの実が完成です。

今年も、16日(金)に約3・2トンのそばの実が引き上げられ、2月10日(火)に行われた、同協議会主催の試食会では、「今年も美味しくできた」と好評でした。

今後、8月上旬から中旬にかけて、市内の八溝そば街道推進協議会参加店で、寒ざらしそばが提供される予定です。

ジャックと豆の木を鑑賞

2月17日(木)、すくすく保育園では、園児たちに本格的なぬいぐるみ人形劇を生で楽しんでもらおうと、劇の鑑賞会が開かれました。

当日は、千葉県劇団こぐま座による「ジャックと豆の木」の人形劇が披露されました。人形が登場すると園児たちは大はしゃぎ。ジャックと大男が対決するシーンでは、「ジャック、がんばれ」と園児たちの大きな声が響きわたりました。最後には、人形と握手をするなど楽しいひと時を過ごしました。



劇に夢中な園児たち。

「南那須中学校」への統合へ向けて…

下江川中 荒川中 で閉校式

下江川中学校と荒川中学校の統合へ向け、閉校式が両校で行われ、在校生や卒業生、保護者、地域住民、学校関係者などが参加しました。会場には、歴代の生徒が受賞した表彰状や盾、卒業アルバム、写真、在校生が作成した閉校記念の絵などが展示され、長い歴史を物語っていました。

式典では、大谷範雄市長が「人口減少や少子高齢化による教育環境などの変化を受け、統合の英断をした地域住民に深く感謝します。在校生には新しい中学で希望に満ちた道を歩んでほしい」というあいさつ。続いて校長や代表生徒のあいさつの後、市長に校旗が返納されました。また、式典後には、記念行事が行われ、それぞれの学校の歴史に思いを馳せました。



4月から「南那須中学校」として利用される校舎(現・荒川中学校)。

4月からは下江川中の生徒と一緒に頑張ってほしい」と述べました。

その後の記念行事では、志鳥出身の柴野真理子さんがボーカルを務めるユニット「LOOP CHILLD」によるライブが行われました。荒川中の校歌をアレンジした曲も披露され、生徒たちを楽しませました。

2月21日(土)に行われた荒川中学校の閉校式では、吉成伸也校長が「荒川中はこれまで68年間にわたり8702人の卒業生に支えられ、伝統を受け継いできました。4月からは旧南那須町を学区とする新しい中学校に地域の歴史と伝統、そして調和と融合を期待したい」とあいさつ。生徒代表のことはでは、3年の伊帳田小春さんが「荒川中がなくなっても、この校舎で過ごした日々は色あせることなく私たちの心に残るでしょう。」

22日(日)には、68年間で6830人の卒業生を送り出した下江川中学校の閉校式が行われました。式典では、山久保拓男校長が「人が環境を作り、環境が人を作る」と言われますが、この地域の暖かな雰囲気があるまま学校の雰囲気になり、勤勉で思いやりのある生徒を作り出している。この姿は、必ずや新しく誕生する中学校の歴史と伝統作りの礎になると信じています」とあいさつ。生徒代表の佐藤優梨香さんは「閉校してし

下江川中学校沿革

S 22・4・1	学制改革により下江川村立下江川中学校新設
S 29・6・1	町村合併により南那須村立下江川中学校と改称
S 30・3	校歌制定
S 41・3	校訓樹立、校碑「自立友愛」完成
S 46・9・1	町制施行により南那須町立下江川中学校と改称
S 50・12・24	プール完成
H 1・4・10	下江川中学校新校舎建設用地造成引渡し式並びに竣工式
H 2・7・31	新校舎落成
H 4・2・28	校舎及び各施設体育館落成式
H 17・10・1	町合併により那須烏山市立下江川中学校と改称
H 19・3	プール解体
H 24・8	校舎内普通教室等に空調設備整備
H 26・3・31	グラウンド整備工事

荒川中学校沿革

S 22・4・1	学制改革により荒川村立荒川中学校新設
5・8	開校式
S 23・10・23	荒川小学校校舎借用新校舎完成
S 26・10・17	東原50番地に移転
S 29・6・1	荒川小学校第3校舎移築校舎増改築工事完成4教室、校地拡張1485㎡
S 33・3・3	町村合併により南那須町立荒川中学校と改称校舎増築工事竣工2教室、校庭拡張1772㎡
S 35・6・1	大和久学園内に特殊学級設置
S 36・5・17	校舎増改築3教室
S 44・10・15	校舎増改築2教室
S 46・9・1	町制施行により南那須町立荒川中学校と改称
H 4・4・1	新制服制定
H 4・8・27	新校舎開校式、記念行事、大金285番地に移転
H 5・2・26	新校舎、体育館落成式
H 15・4・1	特殊学級「友愛学級」設置
10・1	町合併により那須烏山市立荒川中学校と改称
H 21・3・31	特別支援学級閉校
H 25・4・1	特別支援学級設置(知的)
H 26・4・1	特別支援学級設置(情緒)

まうのは寂しいですが、在校生には、自分たちの手で下江川中と荒川中、それぞれの伝統を受け継いだより良い南那須中学校を築きあげてほしい」と生徒代表のことばを述べました。

記念行事では、同校に関する思い出の映像集の放映、那須烏山市ふるさと太鼓保存会による太鼓の演奏、生徒全員による「ふるさと」の合唱が行われたほか、最後に校庭では、閉校への思いを込めた風船飛ばしが行われました。風船には、一人ひとりの思いが書かれたメッセージカードが付けられ、花火の合図で一斉に飛ばしました。生徒たちは、高く上がる風船を見つめながら同校で過ごした日々を思い返しているようでした。

市内の園児が「小学校探検」



上：校内を探検する園児と1年生／下：遊びを通してふれあう子どもたち。

市内の幼稚園・保育園では、4月から小学校に入学する年長組の園児を対象に、「小学校探検」が行われました。その中から、1月28日(水)に行われた七合小学校での様子を紹介します。

当日、同小学校を訪れたのは、七合保育園の13人の園児。1年生が出迎え、学校生活の紹介や校内探検などを通して交流を深めました。緊張する園児に1年生が優しく声をかけ、お兄さんお姉さんぶりを発揮していました。

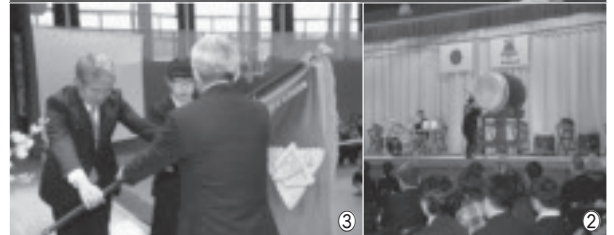
烏山中で立志式 将来に向けて決意表明

14歳を祝い、将来の決意や目標などを明らかにする「立志式」が、1月30日(金)、烏山中学校で開かれ、同校2年生の生徒148人が多くの来賓や保護者に祝福されました。

当日は、「立志のことば」として、漢字一文字に込められた意味を一人ひとり発表。ことばの中には、「『希』一日一日を大切に、希望をもって生きたい」や「『努』全力で夢に向かって努力していきたい」など、明るいことばが並び、大人になる自覚を深めました。



「立志のことば」を発表する生徒たち。



①思いを込めた風船飛ばし ②那須烏山市ふるさと太鼓保存会による太鼓演奏 ③校旗を返納する山久保校長と佐藤生徒会長(下江川中より)／④生徒や保護者など全員で歌った校歌 ⑤LOOP CHILDによるライブ ⑥生徒代表の言葉を述べる伊帳田さん(荒川中より)。



ぼくたち幼なじみ
(オオムラサキ幼虫探しより)

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当
☎0287-83-1112



色とりどりの作品で来場者の目を楽しませた作品展。

500点の色とりどりの作品を展示 あすなる手織り展にぎわう

市社会福祉協議会「あすなる」では、2月6日(金)から8日(日)にかけて、第11回「あすなる手織り展」が開かれ、多くの来場者が手作りの温かみに触れました。

この作品展は、赤羽洋子さん(市貝町出身)が講師として始まったもので、同施設の利用者が手織りした布をボランティアが、服やバツ

グ、小物などを作り展示するものです。会場には、約500点の色とりどりの作品が並び、来場者の目を楽しませていました。7日(土)には、小物作りを体験できるワークショップも開かれ、多くの人が参加しました。

初日に訪れた、川上玲子さん(宮原)は、「毎回、楽しみにしている。温かみがある作品を見て癒されました」と話していました。

締結式では、同会の堀江代表

理事と同センターの井本英夫センター長らが出席し、協議書に署名しました。堀江代表理事は、「大学のサテライトキャンパス

として、学生たちの視線で地域の活性化につながれば」と期待を寄せていました。



その後、つくば農業生物資源研究所の前田太郎さんを招き、「アカリンダニと大木須の和蜂」

と題した講演会が大木須和蜂倶楽部によって開かれたほか、第1回大木須フォーラムが開催されました。フォーラムでは、宇都宮大学の学生による、14年度の大木須での教育・研究成果が発表されました。

一般社団法人里山大木須を愛する会 地域資源の活用盛んに

一般社団法人里山大木須を愛する会(堀江一慰代表理事)では、2月15日(日)、オオムラサキ公園でオオムラサキの幼虫探しなど4事業が開かれました。

当日、まず最初に行われたの

は、オオムラサキの幼虫探し。市内外から約50人の家族連れが訪れ、エノキの落ち葉の裏側で越冬している体長1cmほどの幼虫を根気よく探しました。この日に見つかった幼虫は全部で70匹。

天敵から守るためネットを張った観察小屋に参加者によって移されました。参加していた境小学校3年の山村敏也さんは、「一枚ずつ葉っぱをめぐって見つけるのが大変だった」と話していました。



続いて大木須集会所で行われたのは、宇都宮大学の雑草と里山の科学教育研究センターとの連携協力の締結式。これは、大木須地域の農地や古民家利用など地域資源の有効活用をさらに進め、教育・学術研究の振興と地域の活性化などを目指すために締結されたもので、2016年3月末まで宇都宮大学と協力して事業が行われます。

あすなる手織り展の 作品を市に寄贈

2月6日(金)から8日(日)まで開かれた「あすなる手織り展」で展示された作品1点が市に贈呈され、烏山庁舎に飾られました。花火と名づけられたこの作品は、夜空に打ちあがる花火をイメージして作られたもので迫力満点です。



エノキの葉のうしろに隠れる幼虫を探す参加者たち。



宇都宮大学と連携協力を結んだ締結式。

とちぎ産業活力大賞

中村製作所が最優秀賞を受賞

県内の産業復興や地域経済の活性化に貢献した企業に贈られる本年度の「とちぎ産業活力大賞」の表彰式が2月9日(月)に、栃木県公館で行われ、本市で自動車部品を中心に精密部品を製造



中村製作所社長の中村さん。

する中村製作所(中村彰太郎社長)が最優秀賞を受賞しました。

これは、県内の中小企業のチャレンジ意欲の向上などを目的に2008年から行われているもので、今回は「ものづくり」、「商業・サービス」の2部門で募集。18件の応募のうち、地域経済などに貢献したとして5社1人が表彰を受けました。

同製作所は、最先端の技術や高精度の部品で国内大手企業から高い評価と信頼を得ているほか、品質の高さは海外でも認め

られています。積極的なインターンシップの受入れをはじめ、県内学生や地元出身者の優先的な採用、定年後も働ける環境の整備など地域の産業人材の育成・確保にも力を入れている点が今回、高く評価されました。

中村社長は、「今後、受注量が増えるため、海外拠点の中国及びタイと連携しつつ、技術開発をさらに進化させていきたい。また、雇用に関しては、これからも地元最優先で採用を続けていきたい」と話していました。

金三自治会長の藤田武さん 自治会活動で知事表彰

金三自治会長の藤田武さんが、栃木県自治会活動功労者知事表彰を受賞しました。



知事表彰を受けた藤田さん。

これは、自治会長として永きにわたり自治会の維持や発展に務めてきた功績がたたえられ、栃木県知事から表彰されたものです。

藤田さんは、自治会長として平成9年4月からこれまで17年以上にわたり自治会長を務め、子どもからお年寄りまでふれあえる地域コミュニティづくりに尽力するなど現在も現職として活躍しています。

また、平成11年から18年にか

けては、自治会長として活動しつつ旧烏山町の町議会議員として、産業常任委員会委員や総務常任委員会委員長を歴任、合併時には、市町村合併調査特別委員会委員も務め、旧南那須町と旧烏山町の合併にも貢献しました。

今年で83歳を迎え、現自治会長の中でも最高齢の自治会長となる藤田さん。「自分の身体が健康なうちは、続けたい。地域のみなさんがここに生まれて良かった」と思える地域づくりが目標」と笑顔で話していました。

南1丁目の檜山雅友さん 暗算はじめて2年 6歳で初段に合格



暗算初段に合格した檜山さん。

そろばん塾NICスクール大金教室に通う檜山雅友さん(南1丁目)が、1月に行われた「第365回暗算段位検定試験(公益社団法人全国珠算教育連盟主催)」の初段に合格しました。

檜山さんは、市内の幼稚園に通う年長組の園児。約2年前から同教室に通い、足し算や引き算のみならず、掛け算や割り算にも挑戦し、今では小数点が含まれる計算もできるようになりました。今まで受けた10級から1級の検定はすべて合格。指導にあたる同教室塾長で全国珠算学校連盟の横須賀長次副会長も「6歳で初段を取ることは珍しい。並外れた集中力でもっと上の段を取る力を持つので楽しみ」と期待を寄せています。

週3回、1日3時間の教室のほかにも、毎日2時間は訓練をしているという檜山さん。「今年の目標は暗算の検定で5段をとること。そして、いつか最高段の10段をとりたい」と笑顔で話していました。

市内で一斉「しば焼き」

耕作放棄地やあぜ、堤防などの雑草を焼却することで害虫を駆除し、農業生産の安定を図るため、1月25日(日)、市内一斉に「しば焼き」が行われました。

当日は、消防団や消防署、警察署の協力のもと、パトロールや防災無線を使った呼びかけなどをし、安全を確保しながら行われました。

おめでた

赤ちゃん名 (保護者)住所
 平野 恭子 (達朗・良枝) 初音
 船山 侑久 (雅司・歩) 熊田
 遠藤 未咲 (美幸・みどり) 野上
 菱沼 帆南 (貴彦・佳子) 上境
 小池 知輝 (貞友・美由紀) 八ヶ代
 権 斌 (良一・成美) 城東
 本多 未空 (陽一・未希) 中央1丁目
 皆川 志依来 (裕利・舞) 小木須
 池澤 健 (正芳・真可) 南大和久
 八板 明日輝 (勝幸・佳苗) 上川井

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。



コロッケ売りの可愛い子猫
 (烏山保育園発表会より)。



満面の笑みをみせる園児たち
 (すくすく保育園人形劇鑑賞より)。

あなたの税が未来を拓く

市町村税滞納ぼく減月間2015

◆県下一斉の取組

県内の各市町では、納税の公平と税収の確保を図るため、3～5月を「市町村税滞納ぼく減月間2015」として、栃木県と協力して、県下一斉に徴収強化に取り組んでいます。

◆納期内に納付を

市税の滞納は、市の財政を圧迫し、福祉や教育などの市民サービスに支障をきたします。そして、納期内に税金を納めている大多数の皆さんとの公平性を欠くことになりません。

◆差し押さえを強化

税金を納期限までに納めなかった人には、まず「督促状」が送付されます。この督促状が発送された日から10日を経過した日までに完納しなかったときには、市は滞納者の財産(預貯金、生命保険、不動産、給料、自動車、動産(電化製品や美術品、貴金属等)を差し押さえることが法律で定められています。

◆事情がある場合は相談を

病気や失業、事業の廃止、災害にあったなど、税金を納期内に納めることが困難な人は、税務課収納対策担当 ☎0287-188-7113まで連絡してください。

南那須B&G海洋センター 4年連続「特A評価」

「第7回B&G全国サミット(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団主催)」が1月28日(木)、東京都の笹川記念会館で開かれ、「南那須B&G海洋センター」が最高ランクの「特A評価」を受賞しました。

これは、センター利用者や事業開発等の評価で選定されるもので、同センターは、4年連続で「特A評価」を受賞。今後も海洋スポーツの普及に取り組んでいくことにしています。



中学生対象の補習系学習塾 歩-Ayumi-塾

- ☆入塾金 **0円!** 先着入塾者5名まで2ヶ月授業料 **0円!**
- ☆「絶対県立高校には行かせたい」とお考えのお母さんへ
- ☆「塾は高いからなあ…」と、お悩みのお父さんへ

詳しくは…<http://www.ayumi19.jp>

☎090-5423-4499(代表者:佐藤 諒)

那須烏山市大金186 足利銀行さんのすぐ後ろ

俳句誌「こだち」

23年ぶりに里帰り

県内最長の54年の歴史がある俳句誌「こだち」が、昨年10月に木島松穹編集長(高根沢町)がご逝去されたことにより、再び生まれ故郷の本市に帰ってきました。

新編集長は、広報那須烏山でも俳句選者として活躍する、齋藤穂さん。「本市は、俳句にゆかりがある地域。この文化をなくさず継承していきたい」と話していました。

なお、同誌は会員に向けて月1回発行されるものです。

市の人口

2015.2.1現在
()対前月比

人口 27,296(-47)

男 13,439 女 13,857

出生 11 死亡 50

転入 34 転出 42

世帯数 9,616

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

○「春眠暁を覚えず…」という言葉がありますが、まさにその通り。毎年この時期は眠い顔をしている広報担当Cです。(いつもかもしれませんか…?)
○花粉症の症状にも「眠気」があるようですが、ついに私も花粉症デビューをしてしまったのでしょうか??とっておきの眠気解消法がありましたら、私を見かけたときにでもこっそり教えてください!!ぜひ!(笑)
○デビューといえば、先日、母とある用事があって東京へ行きました。私は、大学時代に東京に住んでいたため電車の乗り換えは難なくできるのですが、母は何がなんだか分からない様子。「どうやって切符買うの?」「何駅で降りるの?」と、こんな調子。他にもたくさん面白いことをしてくれたのですが、「これあげるから…(編集後記に書かないで)」と口止め料としてガム1粒を私の手の中に…。
○今度は、一人で東京に行く予定です。生まれも育ちも那須烏山の母…。無事にデビューできるように願う娘でした。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

『イスラム国の正体』 国枝 昌樹

『夫をなくしてからのひとりの生き方』 主婦の友社

『「いつものパン」があなたを殺す』

デイビッド パールマター

『なぜ日本人は「世間」を気にするのか』

三浦 朱門

『サーカスの夜に』 小川 糸

『保春院義姫』 高橋 義夫

『透明カメレオン』 道尾 秀介

『桑港特急』 山本 一力

●児童図書●

『ときめきハッピーおしごと事典』

おしごとガール研究会

『主人公はいつも君』 大野 寿子

『星座神話と星空観察』 沼澤 茂美

『気をつけよう!スマートフォン』

小寺 信良

『泣いちゃいそうだよ』 小林 深雪

『かぐや姫のおとうと』 広瀬 寿子

『おばけのケーキ屋さん』 SAKAE

『おばあちゃんのひならし』 野村 たかあき

『うめぼしさん』 かんざわ としこ

『ふうたどんまい』 村上 康成

●CD●

『バップ』 SEKAI NO OWARI

『FUN! FUN! FANFARE!』

いきものがかり

『(B)透明な色』 乃木坂46

『Best Always』 大瀧 詠一

『歌謡ヒット年鑑 2015』

島倉 千代子ほか

『1989』 テイラー・スウィフト

『フォー』 ワン・ダイレクション

『NHKみんなのうたベスト』

長谷川 暁ほか

『リラクシング・ピアノ』

川柳

篠崎 酔月選

紅白の個性豊かに梅の花

五月女佳子(谷浅見)

年賀状こぬ友達の身を案じ

南 美保子(福岡)

氣弱な子今は元氣な二児の母

塩谷ヨツイ(田野倉)

新人の期待に胸を膨らます

鈴木 幸子(志鳥)

俳句

齋藤 穂選

漆黒の大黒柱餅の花

水井 陽子(南)

料峭や六角堂は浪の上

草分 勉(金井)

われながら路考茶映える初稽古

伊東 澄子(中央)

冬ざれや蔓の呪縛をそのままに

川俣登志子(旭)

文芸

短歌

福澤 悦子選

結ばれて切れず解けず七十年

時には覚えず耐える業をも

鈴木 豊(谷浅見)

荒らすのは寂しきものと休み田を

鋤けば足袋裏の土温かし

須藤 ヤス(志鳥)

疎開児・寮母の絆嬉しくそれなりに

年重さねつつ賀状を交す

川手 トヨ(金井)

惜しや惜し年毎花見を楽しみし

廃校の桜伐られてしまえり

黒崎 ミヨ(金井)

作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計担当
〒321-1069 那須烏山市中央一丁目
番1号 あて 郵送で作品をご応募ください。

八雲神社で「追儺祭」 多くの参拝客でにぎわう



年男、年女、神社役員による「がらまき」。



目の前で繰り広げられた「弦打ち」の行事。

節分の日の2月3日(火)、中央1丁目の八雲神社で恒例の「追儺祭」が行われ、境内には福を求める参拝客でにぎわいました。

この祭は同神社の年間行事の一つで、「山あげ祭」の当番町を中心に取られ、境内には福を求める参拝客でにぎわいました。

「がらまき」のはじまり。その頃は境内にあふれんばかりの人でいっぱいになり、福を授かろうと参拝客が、われ先にと手を伸ばして縁起物を拾っていました。

また、祭の最中には、元田町の消防団による「どんと焼き」も行われ、「正月飾り」や「だるま」などを手に持った参拝客が足を運びました。

この追儺祭が終ると、いよいよ春の訪れです。八雲神社の関係者も「山あげ祭」に向けて準備が本格化します。

ふくは〜うちーおには〜そと！

節分「豆まき」が盛ん

節分の日の2月3日(火)、市内の幼稚園・保育園では、「豆まき」が行われ、一年の無病息災を願いました。その中から、みどちゃん保育園・烏山みどり幼稚園と烏山聖マリア幼稚園の様子を紹介します。

◇
節分は、現在では立春の前日(太陽暦の2月3日から4日をさしますが、もとはそれぞれの季節がおわる日、つまり立春、立夏、立秋、立冬の前日を行いました。節分につきものの「鬼はらい」の行事は、中国の大饗(げんりやう)が源流で、おそろしい形相の面をつけた呪師(まじない)が疫鬼を追い払う行事です。日本では、706年(慶雲3)に、たくさんの方が疫病で命を落とすことと、土の牛を作って、はじめての鬼払い儀式が行われたといわれています。その儀式は追儺(おに)といい、朝廷では鎌倉時代まで大晦日の夜に行っていたそうです。



①③：烏山聖マリア幼稚園
②④：烏山みどり幼稚園・みどちゃん保育園。

有料広告

お店の宣伝してませんか？

少ない経費で大きな宣伝

地域密着
情報紙

アドペッパー

配布エリア：那須烏山市・那珂川町・高根沢町・市貝町・さくら市・大田原市・宇都宮市・鹿沼市・常陸大宮市

株式会社アド・ワークス

アドワークス 烏山 検索

掲載料金

0120-03-8633

1枠8,000円